LCA日本フォーラム表彰

LCA日本フォーラムは、環境影響評価手法のライフサイクルアセスメント（LCA）の優れた活動を表彰する「第17回LCA日本フォーラム表彰」を発表した。最高位の経済産業省産業技術環境局長賞に選ばれたNGP日本自動車リサイクル事業協同組合をはじめ、全国から選ばれた6件の受賞企業および2人の功労者に各賞が授与された。2月25日に学士会館（東京都千代田区）で開かれた表彰式はコロナ禍のため規模を縮小して行われたが、オンラインでも配信した。

環境負担軽減を評価

企業6件が受賞

LCA日本フォーラムはLCAに関わる産業界、学界、国公立研究機関の関係者などが集まるプラットフォームで、産業環境管理協会（東京都千代田区）が事務局を務める。

2004年度から「LCA日本フォーラム表彰」としてLCAに関わる優れた取り組みを表彰してきた。同表彰は経済産業省と日刊工業新聞社が後援している。資源の採取から製造、使用、廃棄、輸送など全ての段階を通して環境への負担を削減する取り組みを行う企業、組織、研究者を応募対象としている。

主にLCAと環境効率の観点での活動やLCA手法を広く普及・定着していることが評価のポイントとなる。特にライフサイクル・シンキングに基づいた定量化への取り組みが重視され、その結果が環境負荷低減に連結していることが評価される。

今回、経済産業省産業技術環境局長賞を受賞したNGP日本自動車リサイクル事業協同組合は、自動車の修理時のリサイクル部品による二酸化炭素（CO_2）排出量削減効果を定量化し、その研究成果を活用した普及活動が評価された。

従来、自動車リサイクル部品を使用することは、新品部品と比べて資源の節約という観点から環境負担を軽減することは分かっていたが、具体的なエビデンスを示すことができていなかった。

同組合では産学共同で、27車種39台の対象部品の素材と重量を調査し、新品部品の生産時のCO_2排出量を算出した。リサイクル部品生産時のCO_2排出量の算出は、生産手順ごとに車両運搬時の燃料、部品取り外し時や清掃時に使用する工具の消費電力、使用時間、燃料などを調査し数値化した。

この調査を実用化するため、一連の調査データと同組合が保有する車両データをかけ合わせて検証し、リサイクル部品ごとにCO_2排出量の高精度な推定式を開発した。見積書・納品書などに記載することのできるシステムが実現した。この推定式は全国165拠点で活用されているほか、学術利用のために無料公開している。

同組合は「今後も持続可能な開発目標（SDGs）に寄与できるように部品の調査対象を増やしていきたい」と受賞に満足することなく今後の目標を語った。

表彰式は2月25日に学士会館で行われた

産学共同で部品ごとのCO_2排出量を調査した（NGP日本自動車リサイクル事業協同組合）

LCAの取り組み 2プロジェクトで成果を

LCA日本フォーラムでは20年度から「CR2研究プロジェクト」と「自治体の気候行動計画立案支援プロジェクト」を立ち上げている。

CR2（Carbon Removal and Recycling Technologies）研究プロジェクトは大気中からCO_2を除去する技術や、排出ガスから回収したCO_2を有効活用する技術などを合わせた技術群。さまざまな技術分野の専門家による検討の場を設け、LCAガイドライン策定やシステム評価による戦略策定に役立てていく。

もう一つの自治体の気候行動計画立案支援プロジェクトは国家という大きな枠組みからの環境対策のみならず自治体という単位から行う気候行動への計画立案を支援すること。

50年までにCO_2排出ゼロを掲げる自治体は多くあるが、課題としてその具体的な計画を立案するまでに至ってはいないケースは多い。そのため自治体の職員向けに行うセミナーを企画し、LCAや国内外の気候行動計画についての動向や先進的な取り組みなどを紹介し、行動計画の立案に向けての支援を行っている。自治体という単位からのアプローチに期待が集まる。

LCA日本フォーラム会長賞を受賞した三井住友信託銀行は、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（PIF）の取り組みが評価された。金融機関としては初めての受賞となる。

PIFは企業が環境、社会、経済に与える影響をポジティブなものとネガティブなものを含め評価・分析し継続的な支援を目的として融資をすること。企業価値と社会的価値の双方を向上させる企業の価値創造をサポートする。

企業が開示する「統合報告書」「ESGレポート」や事業セグメントやエリア、サプライチェーンの内容などを包括的に確認し、ポジティブインパクトの増大とネガティブインパクトの低減を示すKPI（重要業績評価指標）を定める。また、第三者機関からこのKPIに対しての講評を取得する。第三者意見書は公表することにより評価の透明性を担保する。そして全体を通して継続的に達成状況をモニタリングすることでPIFを評価する方法としている。

同行は「銀行がLCAに対する取り組みで評価されるのは励みになる」とし、「環境面から社会面まで企業の活動を後押ししたい」と今後の抱負を述べた。

【第17回LCA日本フォーラム表彰 受賞者】

経済産業省 産業技術環境局長賞
LCAを用いた自動車リサイクル部品のCO_2削減効果の定量化と実用化 ～産学連携による研究と研究成果を活用した普及・啓発～ NGP日本自動車リサイクル事業協同組合
LCA日本フォーラム　会長賞
LCAによる製品評価を用いた自社環境配慮製品認定制度の取り組み ダイフク
ポジティブ・インパクト・ファイナンス 三井住友信託銀行
奨　励　賞
LCAの視点を用いた旭化成の環境貢献製品の取り組み 旭化成
サーキュラーエコノミー型製品・サービスのための資源効率指標の開発 パナソニック パナソニックETソリューションズ 産業技術総合研究所
サーキュラーエコノミーの実現に向けてお客様とともに取り組むペットボトルリサイクル セブン&アイ・ホールディングス
功　労　賞
古賀　剛志（エコデザイン推進機構 理事、LCA日本フォーラム　副会長）
長縄　肇志（塩ビ工業・環境協会 技術部　部長）

栄えある受賞企業

経済産業省産業技術環境局長賞
NGP日本自動車リサイクル事業協同組合

LCAを用いた自動車リサイクル部品のCO_2削減効果の定量化と実用化

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合は使用済み自動車を自動車リサイクル法に則して適正に処理し、再使用できる部品を高品質なリユース部品に再生し社会に提供している。再使用不可能な部品は資源分別を行い素材リサイクルにも取り組む。同組合は自動車リサイクル業界で国内唯一、経済産業大臣の認可を受けている。2019年にSDGsの取り組みを宣言し、事業に関連した活動を開始。廃棄物の不法投棄で汚染された香川県小豆島に隣接する豊島の環境保全・再生活動や、子供たちに自動車リサイクルを通じて3R（リデュース・リユース・リサイクル）の大切さを伝えている。

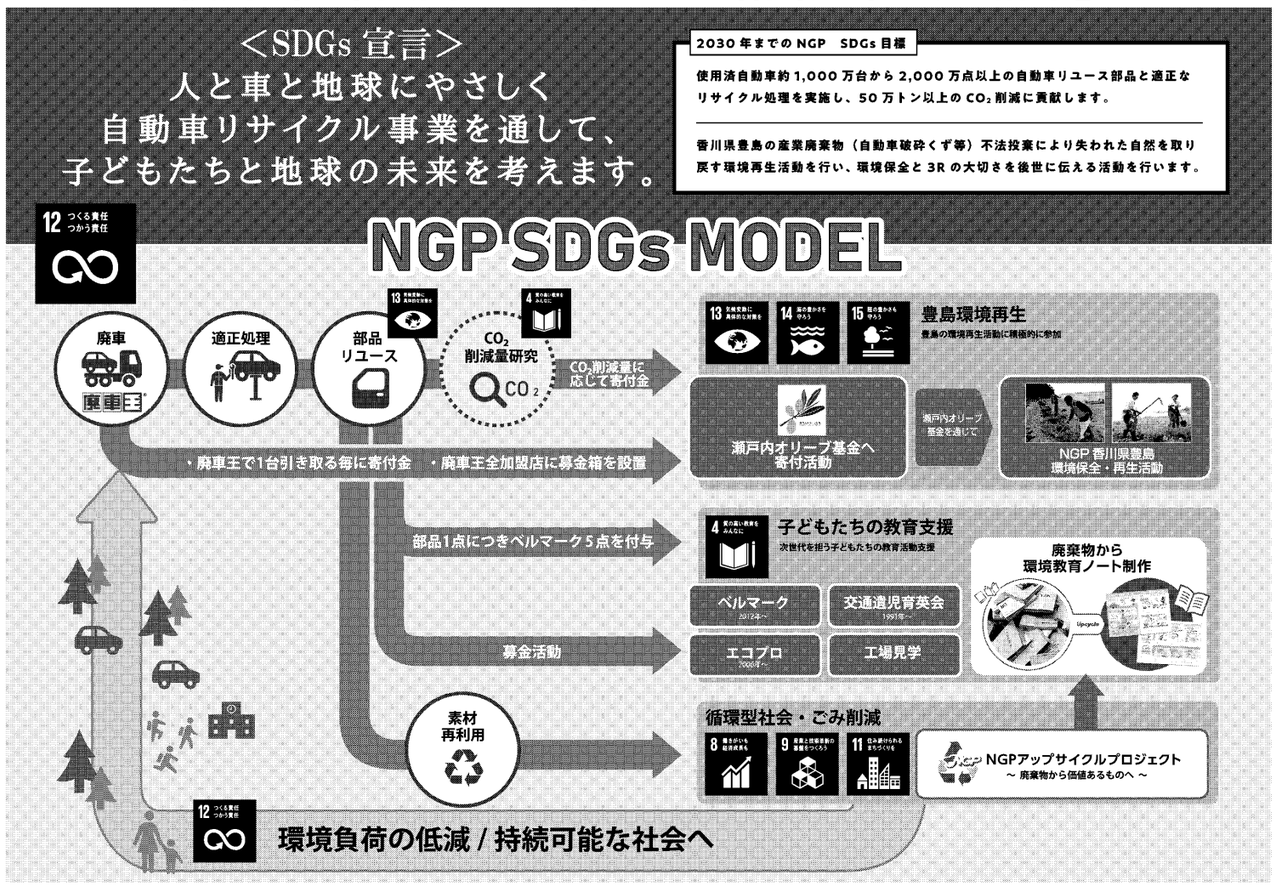
LCA日本フォーラム会長賞
三井住友信託銀行

ポジティブ・インパクト・ファイナンス

三井住友信託銀行は「ポジティブ・インパクト・ファイナンス（PIF）」を通じて企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を分析・評価し、当該活動を継続的に支援している。PIFは、企業の活動、製品、サービスによるSDGs達成への貢献度をLCAの手法などを用いて包括的に分析し、KPIを定めてモニタリングすることが最大の特徴。インパクトを重視するサステナブル金融の発展へ寄与する商品。今後もPIFなどの提供を通じて顧客の中長期的な企業価値向上に貢献する。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS　NGP

使用済み自動車から始まる「循環型社会の構築」



Japan. Committed to SDGs　地方創生SDGs 官民連携プラットフォーム

NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合 / 株式会社 NGP
〒108-0074 東京都港区高輪 3-25-33 長田ビル 2 階 TEL:03-5475-1208 https://www.ngp.gr.jp
NGP SDGs

LCA日本フォーラム表彰

LCA日本フォーラムの運営は、一般社団法人産業環境管理協会が事務局を担当しております。

LCA日本フォーラム表彰とは、
「製品・サービスのライフサイクルから環境負荷削減に取り組む企業、組織、研究者を応援する」ことを目的とした表彰制度です。

- 企業単位、（企業の）工場単位、部単位、組織・団体単位、個人単位、どの単位でも応募できます。
- ライフサイクルアセスメントを活用・協力を表彰する『製品開発・生産活動活用部門』、普及・啓発・教育を表彰する『普及・啓発・教育部門』、研究活動を表彰する『研究部門』、LCAの発展に貢献した個人を表彰する『功労賞部門』を設けています。
- 地方組織、中小企業等の応募も歓迎いたします。
- 表彰された活動については、表彰記念セミナーで講演、取組みを紹介していただく予定です。

各賞名：経済産業省産業技術環境局長賞　LCA日本フォーラム会長賞　LCA日本フォーラム奨励賞　LCA日本フォーラム功労賞

LCA日本フォーラム（JLCA）事務局
一般社団法人産業環境管理協会内
〒101-0044 千代田区鍛冶町2-2-1
Tel：03-6694-5381
E-Mail：lca-project@jemai.or.jp

LCA日本フォーラム（略称：JLCA）は、我が国におけるライフサイクルアセスメント　（LCA）に係わる産業界、学界、国公立研究機関の関係者が集うプラットフォームです。